

明県費補助 研究者は手続きを

県では、次の対象者に「発明研究補助金」を交付することとしています。補助金交付を希望される場合は、7月10日まで新潟県工業技術センター（新潟市鏡504番地）へ交付申請の手続きをしてください。

◆交付の対象

本県在住者で、県産業の発展および社会の福祉増進に寄与し、容易に実施化できる発明考案であって、将来、特許または実用新案登録を得ようとして研究もしくは出願中のもの、および特許または実用新案権を有するもの

◆なお、申請の手続きや、くわしく知りたい場合は市役所商工観光課あてお問い合わせください。

市では、四月一日から高齢者の医療費扶助の対象者を、七十七歳から七十五歳に引き下げ、その扶助を実施しておりますが、まだ、資格の届け出されていないかたがありませんから該当の届け出をしてください。

市では、四月一日から高齢者の医療費扶助の対象者を、七十七歳から七十五歳に引き下げ、その扶助を実施しておりますが、まだ、資格の届け出されていないかたがありませんから該当の届け出をしてください。

●対象者：七十五歳以上のかつておこなわれる都市では、放棄や形態の建物が無秩序に混在し、さまざまな活動が行なわれる都市では、放棄や形態の建物が無秩序に混在し、その結果、騒音、悪臭、日照妨害などにより生活環境が悪化するばかりでなく、生産、交通、レクリエーションなどの都市の機能が混乱し、住みにくく不便な街になってしまふ。そこで、このようないふうに建設され、今まで決められていた用途地域についても、新しい制度によって決めなされことになりました。したがつて古い用途地域は、昭和四十六年の一月から数えて三年以内に、新しい用途地域に変更されています。

●持つてくるもの：健康保険証書と印かんまた、国民健康保険証に印のないかたは、七十五歳以上でも医療費の扶助を受けられるので、忘れずに手続きしてください。

手書きは★国民健康保険証に加入している人は「国民健康保険証、社会保険の被扶養者」を市民課（②番の窓口）に届け出ます。★届け出がなされたら、市民課では、国保の人は氏名欄に記入して下さい。

市では、四月一日から高齢者の医療費扶助の対象者を、七十七歳から七十五歳に引き下げ、その扶助を実施しておりますが、まだ、資格の届け出されていないかたがありませんから該当の届け出をしてください。

●市外の医療機関で受診された場合には、一部負担金を支払った受け取りと、診療報酬請求明細書（社会保険の人が受け）をもらって、保険証と一緒に提出すればよいことになります。

市ではいま、秋植え分の造林用杉苗木が、これまで五割の一部負担を払っていたものが、二割だけの負担になります。

市ではいま、秋植え分の造林用杉苗木の購入を希望されるかたがさんで納めなくて済むことがあります。また、場合によつては、せっかくの年金が受けられないこともあります。

年金額などが改善され、夫婦二万円年金が実現した時に、保険料の急激な負担増をかけて四十五年七月と四十七年七月の二回にわけて行なうことになされたものであります。

年金はこのように、年金額を国がたして大蔵省の資金運用部に預けられ、それを運用することによって利子を増やし、将来、年金を支給する時の財源にあてています。

今度の保険料の改定についても昭和四十五年七月に

金の特別融資として、公共施設などの建設資金にあて

高齢者 医療費扶助の 資格届けが必要

七十五歳になる月の始めから該当

国民年金 保険料五百五十円に

七月から国民年金の保険料（定額分）が、今までの四百五十円から五百五十円にかわります。

みなさんから預けられた保険料は、その半分に当たる額を国がたして大蔵省の

資金運用部に預けられ、そ

れを運用することによって

利子を増やし、将来、年金を支給する時の財源にあてています。

ただがつて年金を引き上げていくために

保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

は、保険料をそれに見合つた引き上げが必要なのです。

今はまだ、年金額を長期的に算出し、そ

の積み立てられた財源を運

んであります。

年金額三百五十円でそのま

まかわら、保険料を段階

的に引き上げていく修正積

立方式をとっています。

これで積立金の使途につ

ては、その一部が国民年

金の特別融資として、公共

施設などの建設資金にあて

となります。

まします。

なお、所得比例制保険料

</